

旭川市公共施設等総合管理計画第１期アクションプログラム施設再編計画案についての意見交換

主な意見とその場での回答内容について

地域名	日時	意見交換会の対象	参加者	意見等の状況
中央・新旭川	8月6日 18:00～18:40	まちづくり推進協議会委員及び関係者	21人	3人から3件の意見 意見交換会終了後の個別対応を含む
豊岡	6月26日 18:00～18:40	まちづくり推進協議会委員及び関係者	15人	2人から8件の意見
東光	8月20日 14:50～15:30	まちづくり推進協議会委員及び関係者	20人	8人から13件の意見
北星	8月8日 18:00～19:10	まちづくり推進協議会委員及び関係者	24人	6人から10件の意見
末広	8月24日 18:00～19:00	まちづくり推進協議会委員及び関係者	57人	4人から4件の意見 ほか文書で提出を受けたもの1人から3件
春光	8月27日 18:00～19:00	まちづくり推進協議会委員及び関係者	34人	4人から6件の意見
春光台・鷹の巣	8月21日 19:20～20:20	まちづくり推進協議会委員及び関係者	48人	6人から6件の意見
神居	8月10日 18:00～19:15	まちづくり推進協議会委員及び関係者	16人	4人から12件の意見
江丹別	7月11日	まちづくり推進協議会委員に資料配付 意見等があれば提出を依頼		現時点で意見等なし
	5月23日	春日振興会と春日青少年の家について協議 使用が困難になった時点で用途廃止を検討せざるを得ないことを説明。		
永山	7月5日 16:30～17:20	まちづくり推進協議会委員及び関係者	34人	3人から7件の意見
東旭川	8月28日 18:20～19:30	まちづくり推進協議会委員及び関係者	24人	5人から15件の意見
神楽	7月24日 18:30～19:20	まちづくり推進協議会委員	12人	2人から8件の意見
緑が丘	7月27日 18:00～18:50	まちづくり推進協議会委員及び関係者	21人	5人から11件の意見
西神楽	5月17日 18:30～18:50	まちづくり推進協議会委員	12人	市からの説明のみ
	6月21日 18:00～18:20	まちづくり推進協議会委員	13人	4人から6件の意見
	7月5日 18:00～19:50	中央市民委員会及び町内会関係者	60人	4人から6件の意見
	7月26日 18:00～18:15	まちづくり推進協議会委員	12人	具体的に検討を進めることを確認
東鷹栖	8月29日 14:45～15:50	まちづくり推進協議会委員及び関係者	16人	6人から13件
合計			439人	66人から128件の意見 ほか文書で提出を受けたもの1人から3件

## 【中央・新旭川地域】

### 【中央・新旭川まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 6 日（月）18:00～18:40 参加者 21 人 3 人から 3 件の意見（意見交換会終了後の個別対応を含む）

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○中央公民館

中央公民館の老朽化への対応として、まず地域集会施設に関する見直しを実施し、その運用状況を見ながら、地域内の他の集会施設で対応ができるのか、あるいは場所が必要であれば、どの程度のスペースが必要なのか、そのスペースをできるだけ地域内の公共建築物の改修等により確保できないか、という順で検討したいと考えている。

#### ○中島交友会館貸付地

公共建築物のうち、地域会館として貸付けているものについて、公平性や財源確保の点から、個々の状況を踏まえながら、地域関係団体への売却や貸付手法の見直しを進めていきたい。少なくとも市が建替えることは想定しておらず、地域にとって必要性があれば地域会館の補助制度等の活用を検討していただきたい。

#### ○新旭川保育所

民間事業者とともに保育を提供する機能を担っており、待機児童の解消が図られつつあることもあり、その在り方について現在、検討を進めている。  
まだ検討段階であるので、少なくとも、現在利用されている方に影響は生じない。

#### ○柔道場

現在、東光スポーツ公園複合体育施設の一つとして武道館の整備を進めている。機能としては柔道場と重複するため、廃止を含めて検討したいと考えているが、恒常的に利用する上で、現在の柔道場と比べて不便な場所にあるため、今後、具体的に廃止時期等を利用者と協議する際には、市内の中心部などにおいて、既存施設を活用した取組も併せて、示していきたい。

	意見内容	回答内容
1	旧北都中学校について、利活用はどのように考えているのか。	売却も想定し、現在、その手法について検討している。市が、解体撤去し、更地化して売却するのか、あるいは建物付で売却するのかという点や、必要となる土地処理の扱いなどを検討しているところ。特に冬場の管理の点からも、早めに処理をしたいと考えている。
2	中央公民館について、高齢者のコミュニティの場としても機能しており、できるだけ現在地の周辺で、そのような場を確保してほしい。市の状況から建替えは難しいと考えており、中央公民館の建物に手を加えながら、できるだけ使い続けることを検討してほしい。	地域集会施設に関する見直しと並行し、中央公民館周辺の公共建築物を活用してスペースを確保することの検討が必要であると考えている。その際、当面、中央公民館を使い続けることも含めて、いくつかのパターンを整理していきたい。
3	地区センターについて、使用料を引き下げる方向で検討しているとのことだが、その分、市の委託料で対応してくれるのか。	より多くの方に利用できるよう施設運営をお願いするとともに、結果的に市が負担することも生じる。概算だが、見直しにより、使用料収入に関して数千万円、市の持ち出しが増えるとの試算も行っている。

【豊岡地域】

【豊岡まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 6 月 26 日（火）18:00～18:40 参加者 15 人 2 人から 8 件の意見

【意見交換のポイント（説明要旨）】

○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

	意見内容	回答内容
1	地域集会施設の見直しにより、地区センター及び住民センターの使用料について、利用者の負担割合を 50%にすることを検討しているとのことだが、残り 50%はどこが負担するのか。	より多くの方に利用できるよう施設運営をお願いするとともに、結果的に市が負担することも生じる。概算だが、見直しにより、使用料収入に関して数千万円、市の持ち出しが増えるとの試算も行っている。
2	利用区分のコマ数が、昼の区分が2つになり、使用料も変わるとなると、現在、昼の区分で 2 時間くらいしか使用していない人がかなりいることから、それらの人は負担も少なくなるということか。	利用状況は施設や地域、部屋区分によって異なるが、中には、新たに予約が取りづらい状況も生じていることから、提供可能なコマ数を増やそうとするもの。なお、現在、地区センター及び住民センターを利用している場合については、使用料は下がる見込み。
3	この地域では、予約で埋まることは、ほとんどない。全館使用するようなことは、月に 1 日か 2 日程度。運営費の足りない分を市で負担してくれるのならば、異論はない。	指定管理者の頑張りだけでカバーすることに、限界もあるものと考えている。
4	現在、地区センターでは、非常灯が故障している。補修をお願いしているが、予算がないということで、壊れたままの状態。その程度の予算も市は対応してくれない。集会施設の見直しを行う前に、緊急的なところの修繕費を措置してほしい。	修繕等の予算を大幅に増やすことは困難であり、限られた予算の中で、優先度を意識しながらやり繰りしている状況。
5	危険度の高いものは優先的に対応してほしい。事故があったときに責任を負えない。	そのような問題は、各公共建築物で生じており、施設を管理されている方から、このような機会も含めてお話を伺い、所管課を含めて共有したい。

6	<p>市では、施設ごとの利用率等のデータを把握していると思うが、利用率の低い施設については、優先的に廃止や早い時期に整理・統合の対象になっていく、という理解で良いか。</p>	<p>例えば、中心部には、ときわ市民ホール、勤労者福祉会館、建設労働者福祉会館の 3 施設があるが、その中で勤労者福祉会館と建設労働者福祉会館については耐震性が確保されていない状況。</p> <p>部屋ごとの利用率を見ると、勤労者福祉会館と建設労働者福祉会館のいずれも、ときわ市民ホールに比べて利用率が低いため、ときわ市民ホールと勤労者福祉会館の 2 つの施設で、これら 3 施設のニーズに対応できるのではないか、という方向性を検討している。耐震化の状況も踏まえながらだが、利用率からもニーズに対応できる見込みであれば、早めに検討を進めることも想定している。</p>
7	<p>地域集会施設の見直しについて、公民館の利用者からは、利用者負担の点から意見が出てくると思う。公民館の利用料は、地区センターの 10 分の 1 であり、この地域から神楽公民館に行っている人もいる。</p>	<p>取組の必要性を含めて、丁寧に説明していくことが必要であると考えている。公民館の利用者に対しては、使用料とともに、地区センターや住民センターにおいても活動しやすい状況とするための取組も説明することが必要であると考えている。</p>
8	<p>集会施設の見直しを行うのであれば、公民館の名前を変えた方が良い。公民館は使用料が安い、というイメージが定着しており、なぜこんなに上がるのかという状況になる。名前が変わり、体制も変わったということで地区センターと同じようなものになる、ということを認識してもらうことも必要。</p>	<p>生涯学習活動の場所を確保するための手法を、比較検討できる形で整理しながら社会教育法に基づく公民館の位置づけを考えていくことが必要であると考えている。</p>

## 【東光地域】

### 【東光まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 20 日（月）14:50～15:30 参加者 20 人 8 人から 13 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

	意見内容	回答内容
1	補足説明をした内容についても、資料を配付してもらいたかった。説明を聞いただけではきちんと理解できなかった。	地域全体を対象とした意見交換会においては、広く浅い説明になりがちなため、特定の事項について申し出があれば、別途意見交換会の開催を検討する。
2	建築後 65 年を経過する施設が、今後約 20 年で 99 施設とのことだが、事前に配付された資料には、施設名の記載がない。99 施設がどこなのか知りたい。	99 施設の内訳については、後日、資料を提供する。 ※8/27 参加者に送付済み
3	資料は内容を確認するためにも事前に配付してもらいたい。	資料については事前配付をしているが、できるだけ早めに手元に届くように工夫したい。
4	地域集会施設の使用料の見直しについて、暖房費も含めて見直しを行うのか。	受益者負担割合を 50%にすることについては方向性として整理しているが、暖房費の扱いや公民館の減免規定の扱いなど、個別事項については現在検討中。
5	公民館の減免対象になるため、申請が必要なのか。子どもが施設を使用する場合は減免の対象となるのか。減免の対象になる生涯学習活動団体になるには、何か申請をすればいいのか。子供たちが施設を使用する場合に減免の対象とならないのか。	生涯学習活動団体の申請に対しては、規定に合致しているか確認を行うが、市として支援すべき団体なのか、精査しなければならないと思っている。また、減免の対象について、新しく、若い世代等を対象にしようとする見直しの考えがあったが、実際に料金の改定に反映しきれていないことから平成 31 年度及び平成 32 年度の改定作業時には、検討が必要であると考えている。

6	千代田小学校と東栄小学校について、建替えを検討と資料にはあるが、例えば、校区の見直しも併せて実施して、再編するという考えはないのか。郊外での統廃合については話に聞かすが、中心部等では行わないのか。	旭川市立小・中学校適正配置計画ブロック別計画においては、小学校 12 校と中学校 4 校について統廃合を予定しており、校区の見直しも併せて検討している。郊外以外での統廃合については、日章小学校、大町小学校、啓北中学校などがあるが、進め方として、郊外から順次、協議等が成立している状況にある。
7	東光公民館は駐車スペースが少なく狭いが、改修等の対応策は計画には入っていないのか。	地域集会施設の見直しにより、東部住民センターや東地区体育センターにおいても、活動しやすい状況にできないか、という検討とともに東光公民館の駐車場についても現実的な対応手法を検討しているところ。
8	東光地域の公共施設は資料では 20 施設とのことだが、2 つだけが建替え検討であり、それ以外について検討事項等は、ないということか。また、東光地域の 20 施設は平成 52 年度までにすべてが建築後 65 年経過する施設ということなのか、又は、いつの時点で建築後 65 年を経過するのか。	老朽化施設について、建替えをしない、ということはない。施設によっては建替えをするものもある。東光地域の公共建築物について、どの時点で建築後 65 年を経過するのか、後日、資料を提供する。 ※8/27 参加者に送付済み
9	施設再編計画では、どの施設を対象としているのか。	旭川市の公共建築物は約 680 施設があり、それらすべてを対象としている。
10	東地区体育センターを管理しているが、使用料の見直しについての資料はないのか。	現時点で提供できるものは無いが、今後、各運営委員会と意見交換を予定している。同様の問い合わせや意見交換の必要性については、他の住民センターや地区センターの運営委員からも寄せられている
11	東部住民センターの体育館の床が傷んでいるが、修繕は可能か。	東部住民センターについては今後も使い続ける施設であることから、時期は調整が必要だが、今後、何らかの修繕等の対応が必要であると考えている。
12	旭川市は、公共建築物が多すぎる。今後、いろいろな意見を聞いて適切に進めてもらいたい。	特に、若者との意見交換の必要性を感じている。今年度、初めて、具体的なテーマを持って高校生と大学生を対象に意見交換を実施しており、次年度以降も何らかの形で、実施したい。
13	東部住民センターの一室を地域包括支援センターが、間借りしているが、それに関しても料金が変わるのか。	現在検討している地域集会施設の見直しは、貸室についての使用料を対象としている。

## 【北星地域】

### 【北星まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 8 日（水）18:00～19:10 参加者 24 人 6 人から 10 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○錦はるかぜ公園会館

地域集会施設と比べて、規模が小さく、地域会館として貸付けを行っているものなどについて、中には、建築年数の経過や耐震性の確保等の課題を持つものもある。それらに対して市が公共建築物として建替える、ということは困難なため、必要に応じて、地域会館の補助制度等の活用を検討いただきたい。

#### ○近文保育所

民間事業者とともに保育を提供する機能を担っており、待機児童の解消が図られつつあることもあり、その在り方について現在、検討を進めている。まだ検討段階であるので、少なくとも、現在利用されている方に影響は生じない。

	意見内容	回答内容
1	大町小学校について、統廃合対象となっているが、地域にとっては大切な存在。どうなっているのか。	平成 27 年度に策定した旭川市立小・中学校適正配置計画ブロック計画において、大町小学校は統廃合対象としており、その期間は平成 32 年度から平成 36 年度を想定している。進めるに当たり、保護者や地域住民と十分に協議することとしており、具体的な統廃合の時期等は決まっていない。
2	錦はるかぜ公園会館は、地域にとって、なくてはならない施設であるが、老朽化しても市が建替えをしないとすると、地域が費用を負担し、対応することになる。市の補助制度で新築の場合、1/3 の補助があるが、今後の補助制度の見通しはどうなっているのか。	地域会館に関する補助メニューについては、他の地域からも意見を受けており、現在、地域会館や団地集会所、高齢者いこいの家の設置状況を把握し、関係課で共有しながら、地域会館の補助メニューについて検討しているところ。錦はるかぜ公園会館については、まだ使える建物であると思うが、今後、地域で建替えを検討する際には、提示できるように作業を進めていきたい。



3	新規整備を抑制することであるが、近文町 25 丁目にコミュニティ施設を整備することとの整合性が取れない。地域住民は整備を願っており、その際に、民間活用等の見通しはあるのか。	近文町 25 丁目のコミュニティ施設の整備については、地域からの要望等を認識しており、民間の建物の一室を地域の集会場として提供してもらうなどの取組は、実現性を高めることにつながると考えている。
4	各地域の施設の利用に関するアンケート調査等を行っているのか。例えば、各施設の利用率などは把握しているのか。	集会施設の部屋ごとの利用率については把握している。今後、集会施設の見直しの検討に合わせて、地区センターや住民センターの利用者からの意見も何らかの形で把握することを検討中。
5	今まで一度も、市民の声として聞かれたことはない。市民の意見を反映していると言えるのか。	今回、集会施設について見直しを行うこととなったことから、利用者の意見を聞くためにも良いタイミングだと考えている。
6	若い世代の意見をもっと聞きながら対応してもらいたい。	若い世代の意見を把握するため、モデル的に高校生と大学生を対象に対話集会を実施した。次年度も、若い世代との意見交換を検討している。
7	北星地域には、西近文会館という地域会館があるが老朽化が進んでいる。どのような対応をするのか。また、近文町 25 丁目の旧道北病院跡地の利用についての調査費について、どのような使い方をしているのか。現地を調査しているのを見たことがない。近文町 25 丁目は今後どのような方向性となるのか。	西近文会館の老朽化が地域の課題となっていることは認識しており、近文町 25 丁目の土地を活用することにより、その課題への対応も図られるのではないかと考えている。 ※ 事業所管課 調査費は、他都市の事例調査に使用している。他都市の中には、民間活用により進めているものもあるし、コミュニティスペースの運用についても、様々な手法があることから、それらを調査しているところ。
8	多様な手法があることは分かるが、実際、近文町 25 丁目にコミュニティ施設を整備するのは、いつぐらいを目途としているのか。	※ 事業所管課及び公共施設マネジメント課 施設の適正配置を考慮することが必要であり、進捗状況については、地域に説明していく。近文町 25 丁目のコミュニティ施設については、庁内で認識しているが、いつ、どのような形で整備するのかは未定。
9	近文保育所は、地域にとっては必要な施設。待機児童が解消されつつあるとのことだが、潜在的待機は解消されていないと思う。この地域には他に保育所が無いことから、存続が必要ではないか。	市内の保育所について、市が設置しているものもあれば社会福祉法人が設置しているものもある。同様のサービスを提供できるのであれば、市が自ら保育所を設置し運営しなくても良いのではないかと、ということであり、保育所が無くなるものではない。
10	地域には、町内会で打ち合わせをするために集まる場所がない。例えば、地域の空き家を活用する取組はないのか。住民が集まれる場所が欲しい。	国の制度の中で、空き家の活用に関する補助制度があるため、それらも活用しながら地域会館の補助メニューの見直しができないか、という部分も検討事項であると考えている。

## 【末広地域】

### 【末広まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 24 日（金）18:00～19:00 参加者 57 人 4 人から 4 件の意見 ほか文書で提出を受けたもの 1 人から 3 件

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○東鷹栖公民館第 1 分館

公民館分館の中には、建築年数の経過や耐震性の確保等の課題を持つものもあるが、市が公共建築物として建替える、ということは困難なため、必要に応じて、地域会館の補助制度等の活用を検討いただきたい。当面の進め方については、利用状況、施設の規模等に応じて、個別に検討することとなるが、東鷹栖公民館第 1 分館は、利用状況として地域会館と同様に主に地域の方々に利用していただいていることから、公民館という位置付けを見直しし、維持管理費を地域で負担していただけるのであれば、地域会館として貸付けし、これまでと同様、使っていただくことを検討したいと考えている。

	意見内容	回答内容
1	地域では、過去に地域会館の設置を要望したことがあるが、近くに末広公民館があることから、設置してもらえなかった。地域の活動を公民館で行っているが、公民館では飲食を伴う事業ができない。集会施設の見直しの中で、公民館の利用条件についても考えて欲しい。また、末広公民館にクーラーを設置して欲しいと要望したが、既に 1 部屋に設置されているとのことで断られた。他の部屋にも設置することを検討して欲しい。	現在検討中の集会施設の運用上の見直しにおいては、対象施設において、飲食を含めた多様な使い方ができるようにする方向で検討している。なお、葬儀の扱いや生涯学習活動の支援に関する取組などの検討事項がある。また、今後も使い続ける施設については、クーラー等の設備の充実も併せて検討していくことが必要であると考えている。
2	地区センターの窓を開けて使用していたところ、近所から苦情が来てしまい、窓を閉め切った状態で使わざるを得ない。クーラーの設置を陳情しているが、何とかクーラーの設置を検討して欲しい。	地区センターによっては、指定管理者が独自にクーラーを設置している状況もあるが、全市的に見ると標準的な設備となっていない。今後、検討が必要であると考えている。
3	末広地域にある小中学校について、地域コミュニティスクールとしての機能を持たすなど有効活用して欲しい。	北光小学校のように校舎内に中央図書館分室やコミュニティスペースを設けているところがある。今後もそのような取組を検討することが必要であると考えている。

4	<p>集会施設の見直しにより、共通の使用料を設定することだが、使用料が同額であれば、新しくきれいな施設を利用するようになり、東鷹栖公民館第 1 分館のような老朽化した施設の利用者は減ることになる。東鷹栖公民館第 1 分館をスムーズに廃止に持っていくために集会施設の見直しを行うのか。</p>	<p>集会施設の運用上の見直しについては、同じような使い方をできるようにすることにより、将来的に、できるだけ建替えを抑制できれば、と考えている。なお、東鷹栖公民館第 1 分館については、集会施設の運用上の見直しの対象施設ではなく、利用実態を踏まえながら、地域会館に移行することを地域と協議したい。</p>
5	<p>今後の公民館の目指す指標は「学習活動を通じて、相互信頼の高い地域社会の形成に貢献し、市民と行政の協働の拠点」であり、住民の地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高め、地域独自の課題や公共の課題に対応するなど、民間事業者等によって提供されにくい分野の学習を支援するための公民館、図書館等の社会教育施設の機能強化が望まれる。そして、公民館が地域市民にとって身近に感じられるような、誰もが利用しやすい施設でなければならない。</p>	<p>※ 意見交換会前に、参加者から「公民館の役割及び末広公民館について」と題する意見を文書で受けた。 意見の概要は、5～7 のとおり。</p>
6	<p>末広公民館は、身障者トイレやエレベーターが無いため、だれでも利用しやすい公民館とはいえない。それらの設置は、地域社会の中核的施設として位置付けや地域的格差の是正の点からも、当然に備えておかなければならない設備。</p>	
7	<p>市は、受益と負担の適正化を図るとして、公民館の使用料の引上げを検討している。消費税の引上げの際にも利用料の据置きがなされたため一定程度の「引上げ」はやむを得ない措置と考えているが、コスト削減も必要。蛍光灯の転換、利用者が少ない夜間の開館時間短縮により、光熱水費や人件費を削減し、使用料の引上げ幅を圧縮すべき。また、使用料の引上げによって確保される財源をもとにエレベーターの設置等を計画的に実施すべき。</p>	

## 【春光地域】

### 【春光まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 27 日（月）18:00～19:00 参加者 34 人 4 人から 6 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○春光 1・2 区青少年会館、春光中央青少年福祉会館、春光 6 区会館

建築年数の経過や耐震性の確保等の課題を持つものもあるが、市が公共建築物として建替える、ということは困難なため、必要に応じて、地域会館の補助制度等の活用を検討いただきたい。

	意見内容	回答内容
1	地域には、道警のアパートが 10 数年来、空き家で放置された状態になっており、そのような建物が存在することは安全上も都市計画上もよろしくない。空き家になっている施設をどうするのか、廃止するのであれば速やかに解体して更地にしてもらいたいというようなことを言えるくらい、積極的に国や道の施設管理者への関与を考えてみてはいかがか。	国、道を含めて活用できるものは活用しようという方向性は持っている。なかなか形になっていない部分もあるが、積極的に市から働き掛けることもできると考えている。そのような中で、国や道の施設をうまく転用して活用できるよう、幅広く検討したい。
2	市は市の施設だけでなく、国や道の施設再編計画とも連動しながら対応すべきである。空き家となっている道警のアパートなどは、使わないのであれば更地にして公園にするなど、もっと広い視野で取り組んでいくことも必要ではないか。	

3	<p>春光１・２区青少年会館が老朽化して、壊さなければならないという状況になった場合に、同じ地域内に、１，２世帯住んでいるだけの道営住宅がある。そのような施設をうまく利用すれば、会館や子供食堂などに活用できるのではないかと。この地域には、国、道の公務員向け宿舎が非常に多く、それがほとんど空き家状態。屋根の雪庇が危険な状態となっているほか、壁が落ちてくる危険性もあり、暗くなると非常に危険であることから、早急に検討願いたい。壊すという考えだけでなく、利用できるものは利用して費用を安くしながらやっていくという方向を考えなければならないと思う。</p>	
4	<p>春光２区団地の集会所について、運営委員会の委員確保に苦慮している。町内の総会や役員会で年に１０回程度しか使っておらず、収入が無いため、電気の基本料金や水道料金も払えない状態。春光１・２区青少年会館等の古い施設があるが、団地の集会場も使えるようにすれば、お互いに、良いのではないかと。と思う。</p>	<p>昨年度、団地集会所、高齢者いきいの家、地域会館について、それらの設置状況等の情報を集約する作業を実施しており、地域との協議において、団地集会所等の情報も提供しながら検討している状況もある。それぞれの利用者において調整が図られるのであれば、老朽化施設の代替場所として、団地集会所を活用することも検討できるものと考えている。</p>
5	<p>春光１・２区青少年会館、春光中央青少年福祉会館、春光６区会館の３施設は１０年持たないのではないかと、との説明があったが、地域ではこれからもペンキを塗ったりして何十年も持たせようと思っている。１０年たったら会館を壊すということか。</p>	<p>春光１・２区青少年会館は、すでに建築後５０年以上経過している。市では、１０年経過したから壊すという発想も、廃止を求めることも無いが、多額の工事費を要する修繕が生じることも考慮しながら、いつまで使い続けるのか、ということも意識することが必要ではないかと考えている。</p>
6	<p>市からは、修繕のお金は出さないとわれ、地域で対応するように言われている。なぜ、地域が今後何十年も使おうと思っているかというと、夏休みには子供が来たり、高齢者が集まったり、お祭りをやったりと地域にとってはこの会館は必要だと思っているからであり、お金は出さなくても構わないが、つぶそうという考え方は疑問。春光地区には、いろいろな施設があるが、これらは人々の豊かな老後や暮らし、日常の生活にいかに関与しているかという認識をきちんと持ってほしい。</p>	<p>現状、市が公共建築物として建替えることは無いが、地域で使えるまで使うことについては特に異論等はない。</p>

【春光台・鷹の巣地域】

【春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 21 日（火）19:20～20:20 参加者 48 人 6 人から 6 件の意見

【意見交換のポイント（説明要旨）】

○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

	意見内容	回答内容
1	春光台の市営住宅について一部を用途廃止とのことだが、現在入居している人がいなくなるまで、そのままなのか。また、廃止する場合、居住者には退去してもらうことになるのか。	基本的に、入居者を退去させることはできない。市内には、他にも古い団地があるが、団地そのものを用途廃止とした場合でも、入居者がいなくなれば廃止はできない状況となっている。
2	地区センターは、葬儀会場として利用できるようになっているが、集会施設の見直しを行った場合に、公民館でも葬儀ができるようになるのか。	現在、地域集会施設の見直しについて庁内で検討しており、その中でも、葬儀の扱いは検討事項となっている。今後、整理していく。
3	施設の使用料については、消費税が 10%に上がった場合どうなるのか。	現在の使用料については、消費税が 8%になった時に、上がった分は反映されていないため、見直しの際に、その分も反映した形で設定する見込み。
4	空き家や廃校を有効活用して、夏の間の移住者の受け入れや外国人向けの宿泊施設として活用し、観光客を呼び込むような取組を検討してはどうか。地域住民も一緒に取り組むので、旭川を元気にするようなことも検討してはどうか。	特に、小中学校の統廃合対象校の中には、比較的、新しい建物もあり、有効活用を検討できるものもあると思う。地域住民の関わりのもとで進めていくことにより、より効果的なものになると考えている。まずは、庁内で、提案のあった活用法を含め、幅広く議論をしていきたい。
5	地域集会施設の見直しにおいて、貸室としての機能を重視することだが、公民館は生涯学習活動の支援を行うことを目的として運営してきた。貸室としての機能を重視することには、疑問を持つ。	地域集会施設の見直しにおいて、視点として、ハードとソフトを切り離して検討しており、生涯学習活動を支えるためのソフト的な部分は、これまでと同様、教育委員会が担うものであると考えている。ソフト的な部分についても、しっかりと検討していきたい。

6	<p>国の財政状況が逼迫している中、旭川市においても同様に財政的な問題を抱えていることが分かったが、国の施設である旭川工業高等専門学校職員宿舎が老朽化し、現在、閉鎖されている。国の施設についても市が有効活用できないのか。</p>	<p>国や北海道が所有する施設や土地についても、有効活用できるものは積極的に検討したいと考えている。しかしながら、今後、ますます土地も売りづらくなると思われるため、市有地について、速やかに処分を進め、売却益や固定資産税としての収入確保を図っていくことも必要であると考えている。</p>
---	--	--

## 【神居地域】

### 【神居まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 10 日（金）18:00～19:15 参加者 16 人 4 人から 12 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○神居公民館

神居公民館の老朽化への対応として、まず実施後の運用状況を見ながら、地域内の他の集会施設で対応ができるのか、あるいは場所が必要であれば、どの程度のスペースが必要なのか、そのスペースをできるだけ地域内の公共建築物の改修等により確保できないか、という順で検討したいと考えている。

#### ○神居公民館上雨紛分館

公民館分館のほか、地域会館として貸付けを行っているものについて、今後、市が公共建築物として建替える、ということは想定しておらず、必要に応じて、地域会館の補助制度等の活用を検討してほしい。しかしながら公民館分館の中には、上雨紛分館のように、建物の経過年数がそれほど経ていない、あるいは利用者の状況を見ると、地域の方々よりも市内の各地域の方々が利用している施設もあるが、そのような場合は、基本的に現行どおり市の施設として位置付けたいと考えている。

#### ○神居支所

その設置場所が神楽支所と近接している、あるいは支所そのものについて機能の充実などの検討事項があるが、支所の建物の状況を見ると、修繕の必要性が高まっており、少なくとも現行の機能をどのように確保するのか検討が必要な状況にある。検討に当たり、老朽化施設の建替えをできるだけ抑制せざるを得ない状況のため、地域内の公共建築物、あるいは民間の建物も含めた既存施設をできるだけ活用することを想定している。具体的な検討事項としては、支所の設置場所を見直すのかどうか、活用できる既存施設の状況の2点であると考えており、今後、それらの事項を中心に、定期的に地域の皆さんと意見交換を行いながら検討したい。

#### ○神居支所神居古潭出張所

他都市の事例を見ると証明事務を郵便局や簡易郵便局に委託している事例もある。検討に当たり、現行の市民サービスの水準を維持することを基本とし、考え方や具体的な取組内容が整理できた段階で、今後、協議を行いたい。なお、現時点では、具体的に検討している状況にはない。



	意見内容	回答内容
1	<p>地域住民の声を聞くと公民館は、地区センター、住民センターに比べて、なぜ、こんなに使用料が安く、減免もされているのかという意見が相当数ある。</p> <p>公民館は生涯学習活動の場となっており、今後どのようなあり方とするのか。</p>	<p>神居公民館は生涯学習活動の拠点となっているが、今後、市内各地でこれまでと同様に公民館として建て替えていくことは困難な状況にある。そのため、神居住民センターや忠和地区センターにおいても、生涯学習活動の場として積極的に活用できるような状況になれば、市内の地域集会施設全体で活動が広がるのではないかと考えている。</p> <p>住民センター及び地区センターについて、現在、受益者負担を100%として使用料を設定しているが、それを50%にしても、利用者が2倍にならないものと考えており、庁内の議論では、市の持ち出しが数千万円、増えることも想定している。</p>
2	<p>支所は公共サービス機関だが、支所をどこかに持っていくのかを聞きたい。</p>	<p>この地域に支所、そのものが必要かという議論もあるが、少なくとも、このまま使い続けるためには、多額の事業費が必要であり、なおかつ、どの程度、使い続けることができるのか先行きが見えない。今のうちに、この機能をどこかに移すという議論が必要だと考えている。</p>
3	<p>お金をかけて60年持たすのではなく、発想の転換が必要だと考える。</p>	
4	<p>支所は市内に何カ所あるのか。たくさんあるのであれば神居も残してほしい。</p> <p>市役所を作るため経費を節減しているようにも見える。自分は手続きなど神居支所が近いので利用している。民間施設を借りてでも近くにほしい。</p>	<p>支所は旧合併市町村の7カに設置している。その内、永山、神楽は比較的大きな複合施設の中にあるが、いずれの支所も基本的に同様の業務や機能を担っている。庁舎整備との関係については、その建替えがあっても無くても、公共建築物に関する財政負担が課題であることに変わりはなく、数十年間使用するため、自前で持つことが安価に収まるものと思われる。建替えの時期については、国の補助等も活用しながらできるだけ市の負担を減らそうという意図も持ちながら検討している。</p>
5	<p>支所と公民館とは別でいいと思っている。市の施設は修繕ばかりで新築は少ない状況。300坪くらいなら3億位で建てられるのだから、神楽に負けないくらいに人が呼べるようなものを建て替えてほしい。神居公民館は小さいため、まわりの人は神楽公民館で活動をやっている。</p>	<p>神楽公民館は、市内全域から利用者が集まることを想定している施設であり、神居地域からも人が流れている状況はあると思う。複合施設として整備することについては、市内の他の地域でも要望等があるが、東光スポーツ公園複合体育施設のように既存の計画ですら着工の目途が立っていないものもあり、今後、スペース的に可能なものは、民間事業者の建物の一部を借りるなどの取組も検討せざるを得ないと考えている。</p>

6	<p>総合庁舎の建替に関する意見交換会と関係しているように思う。</p> <p>建替える方が賃貸するよりも良いことは理解できる。ただし、今の場所に建て替えをして駐車場を作っても、わざわざ中心部に出かけて、用事を足す時代ではないのではないのか。</p> <p>新庁舎では、子供、福祉等の窓口を充実させるとなっているが、実際、子供やお年寄りが中心部に行くことはない。そう考えたときに中心部に、重要な機能がなくてもいいのではないかと思う。極端な話として、中心部に建て替えるのであれば、各地域にある公民館、支所を情報ネットにより、そこから情報を引き出すような情報集約センターの考えでいいと思う。そうなれば、人が中心部に行かなくても、銀行のＡＴＭのように引き出すことができる。そういうことがわからないお年寄りには公民館で教えるようにするなど、自立ができるようなソフト面のアイデアを出してほしい。</p>	<p>ソフトの仕掛けをどうするかについて、現在、協議をしている西神楽の取組を例にすると、施設の集約とともに、地域特性を踏まえた新たな事業を先行的に実施し、それを市内の同様の環境にある地域で展開していくことを検討している。総合庁舎において、それらの市内各地の様々な取組を情報発信したりすることは可能と思われる。</p>
7	<p>民間を含めて借り上げるとの話もあったが、コンビニや適当なスペースのスーパーマーケットであれば駐車場もあり利用しやすい。</p>	<p>民間事業者との連携について、コンビニの提案をいただいた。既に道内でも郵便局に証明書の交付等の業務を委託しているところもあるし、地域によってはコンビニのほか農協なども考えられると思う。今後、支所や出張所の業務について、どのような民間のサービスと関わりを持たせた方が利便性の向上につながるのか、という視点でも、それぞれの地域の特性を踏まえながら検討したい。</p>
8	<p>大雪アリーナはネーミングライツを導入しているが、公共施設の公民館でも名前をつけたい企業などはないのか。歳入増や、前向きなアイデアを出し、実行してほしい。</p>	<p>ネーミングライツについて、大雪アリーナ以外の施設でも募集はしたが、結果的に、１か所のみにとどまっている。公共施設を活用した取組として、スタルヒン球場の球場内広告などの取組も行っており、今後も、あらゆる取組を検討し、歳入確保を図ることが必要だと考えている。</p>
9	<p>公民館は趣味で使う人だけではなく町内会活動でも利用している。神居地域の町内会のうち、町内会館を持っているのは 1/3 程度で、自分の町内には会館がなく、近くの町内会館を借りると 7 千円程度の使用料が必要なため、神居公民館を使っている。</p>	<p>地域会館については、他の地域においても意見をいただいております。現行の補助メニューの見直しを含めて検討している。地域集会施設と地域会館の見直しについて、併せて検討を進めており、いずれかの時点で、地域にとって、より使いやすい方を検討してもらえたいと考えている。</p>

10	<p>地区センターや住民センターの使用料を下げるのではなく、使う用途によって使用料を変えてはどうか。使う人に応じて変えることは良くないかもしれないが、お金がないのであればそれも考えてはどうか。</p>	<p>減免については、指定管理者が独自の判断で実施しているものを除き、市の制度として、減免を講じることについては慎重に考えることが必要であると考えている。減免という手法以外の取組については、幅広く検討したい。</p>
11	<p>まちづくりの課題はハード面からソフト面となっている。インフラ整備で何かをやるにしても、行政が各地域に出向いて説明会を行うなど、地域住民の声を聴きながら解決に向けて取り組んでほしい。</p>	
12	<p>学校の統廃合について、学校が無くなることは地域コミュニティの拠点が無くなること。地域は、元気が無くなり、過疎化や高齢化が進む状況なので、市民の声を大いに聴いてほしい。</p>	

## 【永山地域】

### 【永山まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 7 月 5 日（木）16:30～17:20 永山公民館講堂 市民委員会等地域関係者 34 人 3 人から 7 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○北消防署永山出張所の複合化による建替え要望

北消防署永山出張所については、同じく老朽化している消防出張所があるため、それらとの関係も整理しながら、建替え手法を検討することとしており、その際、コミュニティ機能の併設については、まず、先ほど申し上げた集会施設の使い方に関する見直しによる運用状況を踏まえながら検討したいと考えている。

	意見内容	回答内容
1	永山地区市民委員会連絡協議会として、消防施設の建替え時にコミュニティ機能を併設した複合施設の整備を、これまで 3 年間、市に要望してきた。公共建築物に関する状況や施設再編に関する説明から、現状は理解できたが、要望事項については、地域でも検討し、行政との話し合いをしながら、考えていきたい。	消防施設の建替え時にコミュニティ機能を併設した複合施設の整備に関する要望については、進め方として、まず、地域集会施設の運用上の見直しを行い、その状況を見極めようとするものであり、市としても、地域から見た要望内容の必要性については、現時点では変わらないものと考えている。
2	地区センター・住民センターの使用料を下げても、これ以上利用率が上がるとは思えない。特に、永山住民センターの利用率は 87%であり、なかなか利用できないというのが現状。時間帯区分の見直しについても疑問を感じている。サークル活動等については、3 時間で収まると思うが、一般企業の催事とか展示会を行う場合は、前日の午後から準備して翌日、開催している状況。そういったことも含めて検討していただきたい。	地域集会施設の見直しについて、永山住民センターを管理されている立場からのものも含めてご指摘をいただいたが、そのような意見を、できるだけ多くいただきたいと考えている。住民センターや地区センターの指定管理を受けている立場からは、使用料が下がった分の減収分をどのようにカバーするのか、懸念があるものと承知している。営業努力もお願いしながら、全体として、市の負担が数千万円増えることも想定している。

3	<p>公民館での飲食について、来年からできるようにはならないのか。公民館は飲食が認められないことから、新年の集まりを中止して何年も経っている。そういった経過もあることから、できるだけ早く飲食ができる状態にしていきたい。</p>	<p>実施時期については、公民館の利用者への説明や周知期間が必要であり、最短で平成 32 年度から、という部分について、前倒しは難しいと考えている。</p> <p>なお、現時点でのシミュレーションでは、49 m<sup>2</sup>以下の部屋であれば公民館の 180 円から 250 円程度を想定しているが、より広い部屋であれば、公民館の上がり幅が大きくなるため、そのことをどのように整理するのか、などの課題もある。</p>
4	<p>永山は地域が長く東地区と西地区との距離感がある。西の人は公民館を利用する人は少なく、東の人は住民センターまで距離があるから利用できないという状況にある。地域として人口も多いことから、何か利用しやすい形にしていきたいと思う。</p>	<p>永山地域は細長い地域であり、それぞれの端よりに、設置目的が異なる施設が設置されている状況にある。そのため、まず、両方の施設を同じような使い方ができるようにすることが、利便性の点からも、検討事項であると考えている。</p>
5	<p>住民センターの使用料と公民館の使用料を共通にしたい、という部分について、それを実行するだけの意味はあるのか。統一料金にする発想自体がピンとこない。市の負担が増えるということになれば、おかしいのではないか。</p>	<p>「受益と負担の適正化」の視点から、住民センター、地区センター、公民館などの施設について、受益者に負担をお願いする割合の考え方を整理しており、その中で、市の負担が増えることも想定している。共通使用料の設定については、同じように使える状況にするために、分かりやすさや、動機の点からも望ましいものと考えている。</p>
6	<p>永山西小学校について、建替え検討とのことだが、避難通路がない、トイレが1階にしかない、プールが道路を挟んで反対にあるなど、児童にとって不便。優先的に、建替えをお願いしたい。</p>	
7	<p>地域会館について、どこも赤字で運営しており、各町内会で負担しているという状況。</p> <p>これから新しい建物を建てるという状況にはならないが、会館の運営自体が厳しいため、今後、会館についても制度とか見直しの予定はあるのか。</p>	<p>地域住民の多様な活動の場、という視点からは、地域集会施設の再編とともに、地域会館の状況も意識することが必要であり、昨年度、担当課が実施した地域会館に関するアンケート調査の結果について共有している。</p> <p>身近な施設という点では、地域会館のほか、高齢者いきいの家や団地集会所もあるため、現在、それらの設置場所等の情報を関係各課で共有するなど、現状と課題認識の共有などを進めている状況。</p>

## 【東旭川地域】

### 【東旭川まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 28 日（火）18:20～19:30 東旭川公民館講堂 参加者 24 人 5 人から 15 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○東旭川公民館瑞穂分館、東旭川公民館日の出分館

建築年数の経過や耐震性の確保等の課題を持つものもあるが、市が公共建築物として建替える、ということは想定しておらず、当面のニーズに対応するため、利用実態を踏まえながら、個別に対応策を整理し、市民委員会や利用団体等と協議をしたいと考えている。

#### ○日の出倉沼保育所、桜岡保育所、豊田保育所、米原保育所、旭正保育所

現在休止中の、豊田保育所と米原保育所については閉所について協議中であるが、特に、米原保育所については建築年度が比較的、新しいため、用途廃止後の利活用策について検討できるのではないかと考えている。

#### ○東旭川支所

昨年度の意見交換会において、東部まちづくりセンターを例に、消防出張所との複合化により建替えた場合の状況を紹介した。地域の要望としては、そのような形が望ましいことは承知しているが、建替えを前提とするのか、あるいは他の手法も含めて柔軟に検討できるのかによって、実現性も大きく変わってくる状況にある。

#### ○東旭川支所米原出張所

支所の出張所を 3 か所設置しているが、いずれも取扱件数が減少傾向にある。検討に当たり、現行の市民サービスの水準を維持することを基本としており、市として考え方や具体的な取組内容が整理できた段階で、提案をさせていただくことになるが、現時点では、具体的に検討している状況にはない。

	意見内容	回答内容
1	公民館は飲食ができないが住民センターはできるという話があったが、壁を作っているのは行政であって、市民にとっては公民館であろうと住民センターであろうと同じである。面倒にしているのは行政の方で、行政は利用者の立場で考えていない。	地域集会施設について、目的別の施設整備や運用を行うことにより、何らかの制約等は生じざるを得ない。今後は、既存施設をより活用するためにも、そのような考え方を見直すことも必要ではないかと考え、検討を進めているところ。
2	東旭川に住民センターがないのはなぜか。東旭川は公共施設の密度が低く、永山や神楽は施設が充実している。東旭川には公民館と農村地域センターしかない。これだけ住民がいるところに住民センターがないのはなぜなのか、東旭川だけ冷遇されているのか。	公共建築物の密度が低いとのことだが、住民一人当たりの集会施設の面積を見ると、永山地域の方が東旭川地域よりも低く、この地域だけが施設が少ないという状況ではないと考えている。各種施設整備において、できるだけ国からの補助を活用しながら整備を進めており、その中で、農村地域センターとして農林水産省の補助を活用しながら整備したものと理解している。
3	使用料について、公民館は高くなるとか、住民センターは安くなるとか、とのことだが、施設が立派ではないのに高くするのはおかしいのではと思っている。	使用料の考え方として、建物の老朽化の状況によって差をつけるのではなく、機能として、同程度のものを提供できるのであれば、できるだけ共通化したいと考えている。
4	廃校後、公民館分館として転用している事例が多い。第4小学校の廃校時に、公民館分館にしてほしいと要望したが、実現しなかった。一律に同じ基準で判断されていない気がする。	廃校の利活用について、これまでは、地域協議を踏まえ、公民館分館として位置付けていた傾向があるが、地域住民のコミュニティ活動を行うための規模としては、大きいのではないかと考えている。また、旧第4小学校のように、福祉施設として転用が図られる事例もあるため、廃校の利活用については、個別に、地域と協議をしながら対応していくことが必要。
5	公民館や農村地域センターの場所は、東旭川の中心部から離れており、高齢者の中には、そこまで行けない人達がいる。老朽化施設の建替えを抑制するとのことだが、そのような実態を踏まえ、支所については地域住民の集会施設を兼ね備えたものとして建替えるべき。	市内の公共建築物において、できるだけ老朽化施設の建替えを抑制しようという考えではあるが、当然、必要なものは建替えにより対応する。東旭川支所については、第1期アクションプログラムの期間内において行政機能の内容、確保手法を検討し、可能であればその期間において実施する方向で施設再編計画案を検討している。
6	支所の裏にある旧東旭川中央会館はどのように考えているのか。	旧東旭川中央会館については、東旭川支所の老朽化への対応策を整理する中で、全体工事費の圧縮、敷地の有効活用などの点から、解体撤去の時期等を検討することになると考えている。

7	建物の建替えは抑制すると資料には書いてあるが、そうではないということでもいいのか。	できるだけ老朽化施設の建替えを抑制しようという考えはあるが、全てをそのように扱うことはできない。例えば、学校などの規模の大きいものは、民間の賃貸物件の活用は困難であり、老朽化に対して、建替えが現実的な対応策。一つ一つ、現実的な対応策を検討することになる。
8	支所の2階は全く使われていないのであるから、地域の会館のように使えるようになれば良いのではないか。管理上の問題はいろいろあるかもしれないが、知恵を出せば何とかなる。貸館としてでも良い。建替えまでの間だけでも使わせてもらいたい。	※ 東旭川支所長 支所の建物を管理する立場からは、耐震性が明らかではないものを貸し出すことは難しいと考えている。
9	公民館と農村地域センターの機能は違うことから、一緒にすることが理解できない。具体的な検討をし、早めに示してもらいたい。	
10	愛宕地域に住んでいる。地域割りで東旭川地域とされているため、本日の意見交換会に参加した。東旭川支所や農村地域センターの話しをされてもよく分からない。地域割り、そのものがおかしいのではないか。	地域まちづくり推進協議会の地域割りと現実の日常生活が合っていない状況が生じていると思う。当面、現実的な対応として、意見交換の機会をいただければ、市民委員会や町内会などへも直接、伺いたい。
11	新町団地については、用途廃止とあるが、いつ廃止するのか。	市営住宅について、用途廃止としたものについては募集停止とするが、居住者がいる場合は、廃止時期等は定めていない。修繕しながら対応している状況。
12	耐用年数が過ぎたから壊すと言っておいて、住んでいるからそのままというのであれば、先ほどの旧東旭川中央会館にしても多少手を加えれば、使えたのではないか。また、空き家にして、放置している状況は危険なのではないか。	一般論だが、建物は使い続けていれば、多少古くなったとしても使えると思う。用途廃止した建物が残っていることについては、地域としては疑問に感じると思う。
13	支所の機能など、ソフト面の運用をもう少し弾力的に、時代にあったやり方にしていかないと入れ物だけ作ってもその機能は充実しないのではないか。米原出張所について、時代の流れとしては廃止もやむを得ないと思うが、そのことによって不便になる人も生じる。むしろ、職員が出前をしてはどうか。支所まで来られない人のところに書類を届けるのも住民サービスではないか。そのような発想が、役所から出てこないのは非常にさみしい。	米原出張所や公民館分館については、何らかの代替策を提示することが必要であり、できるだけ地域住民が選択できる状況が協議の際に必要であると考えている。出張所については、職員が届けに行くことも手法だが、道内の事例として、郵便局や簡易郵便局に業務を委託している自治体もあり、それらを比較しながら提案できるようにしていきたい。



14	支所や市役所の機能を時代に合わせて変わっていくことが必要。市役所の開所時間に、サラリーマンは役所に行くことはできない。シフトを組んで、交代制で早朝から夜間まで窓口を開けるとか、もっと血の通った行政をできると思う。	施設再編計画を所管している立場として、建物と機能の関係を考えるときに、支所について、全ての支所で同じ業務を行う必要はなく、地域の状況に応じて、業務内容に違いがあっても良いのではないかと考えている。
15	旭川小学校が建替えられるが、旧校舎はどうするのか。また、旭川小学校のグラウンドが、第2グラウンドとして残されると聞いているが、使うにしても校舎から離れており、道路を挟んだり、死角となっていたりする。児童生徒の安全確保についてどのように考えているのか。	旧校舎は解体撤去を予定している。また、安全確保については、学校にとって最も気を使う部分であり、教育委員会がサポートしながら、検討しているものと理解している。

【神楽地域】

【神楽まちづくり推進協議会】

平成 30 年 7 月 24 日（火）18:30～19:20 神楽公民館講座室 参加者 12 人 2 人から 8 件の意見

【意見交換のポイント（説明要旨）】

○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

	意見内容	回答内容
1	公共建築物に関する説明はあったが、道路や水道管等のインフラ系については、どのようになっているのか。	公共施設等総合管理計画では、道路、橋梁、上下水道などのインフラ系施設も対象としており、進め方として、まず、公共建築物について検討を進めており、今後、インフラ系についても検討する予定。現状、道路については、数を減らすことが難しいため、一定の事業費の中で、やり繰りしながら対応している。下水道については、水道局において更新の計画を持ちながら対応しているところ。
2	彫刻美術館を改修している間、神楽市民交流センター敷地内の建物に執務室があった。改修終了後、執務室が彫刻美術館に戻ったため、現在、空き家となっており、地域として、その活用について要望しているところ。今後、統廃合により、そのような建物が生じると思うが、活用について考えているのか。	統廃合等により用途廃止した建物の扱いとして、平成 28 年度及び平成 29 年度において、通年制保育園 14 施設の扱いについて整理した。 老朽化や耐震性の確保等の課題により、建物を活用することが困難な場合もあれば、東鷹栖農村地域センターのように廃校を改修して地域住民のコミュニティ施設に転用したものもある。 今後、統廃合が生じていく中で、建物の状況やニーズを考慮しながら、転用により対応できるものは検討していきたい。

3	<p>大雪アリーナについては、冬場はスケートリンクになることから管理が難しいことや、施設そのものも見た目以上に老朽化してきている。今後、どのようにしていくのか。</p>	<p>東光スポーツ公園複合体育施設の整備計画があるが、一部の施設を除き、着工の目途が立っていない状況。そのため、大雪アリーナや総合体育館など広域での大会に対応できる体育館について、将来にわたり必要とする施設数や規模について検討することとしている。その際、近隣町の体育館と連携することも検討事項の一つ。</p> <p>それらの結果、仮に、東光スポーツ公園複合体育施設の整備計画を見直す場合は、大雪アリーナや総合体育館などの施設へのお金の掛け方も変わってくるものと思われる。</p> <p>特に、大雪アリーナでは、雨漏りのほか、電光掲示板や製氷機の更新等が課題となっているが、いずれも数千万円以上を要するため、全体の方向性も持ちながら対応が必要と考えている。</p>
4	<p>以前、地域で避難訓練を行った際に、仮避難所の小学校や中学校に備えている毛布の数量等を把握できていなかった。実際に訓練等を行っておかないと、いざというときに役に立たない。</p>	<p>災害の種類によっては、市内のどこの地域でも起こりうることであり、施設再編の取組に当たり、地域において、どこに避難するのか、という視点も意識しながら検討していきたい。</p>
5	<p>施設再編計画はコンパクトシティ化も併せて考えないとならない。その一方、人口が10万人減ったからといって、均等に減るわけではない。神楽中学校？は現在、教室が余っているものと思われるが、建物は、あるだけで維持管理費を要することから、施設の複合化を考えていくことが必要。</p>	<p>建物については、一般的に50年、60年使用することから、建替えには慎重にならざるを得ない状況。そのような中、現時点で、サービスを必要としている人に対応するため、既存施設に必要な機能を加えるという手法は必要であると考えている。</p>
6	<p>年に数回、子ども会の行事で、春日青少年の家を使用しているが、使用できなくなると代わりの活動場所が必要となる。その場合、近隣市町の施設を活用することも検討せざるを得ないことになる。近隣市町との連携の在り方の見直しや、さらには20年後、人口減少により、近隣市町においても、自治体としての機能を維持できなくなるところが出てくることから、近隣市町との連携を進めることが必要ではないか。</p>	<p>近隣市町との連携の必要性は、これから大きくなるものと考えている。管理運営費用を各自治体で分担して賄うような取組についても幅広く検討したい。</p>

7	<p>地域でアンケートを行ったところ、地区センターの使用料が高いという回答はあまりない。これから財政が厳しくなる中、維持管理の徹底を図るためにも、使用料を財源としていることから、使用料を下げる必要があるのか、疑問を感じている。</p>	<p>他の地域においても、住民センター及び地区センターの指定管理を受けている立場から、収益に与える影響を懸念されるご意見をいただいている。より多くの方に利用してもらえるよう施設運営をお願いしつつ、結果的に市が負担することも生じるものと考えている。</p> <p>また、負担割合の見直しは、本来、利用されている方だけの負担ではなく、幅広く市民が負担していこうというもの。</p>
8	<p>地域集会施設の見直しについて、時間帯区分、使用料の変更等、事前に十分な説明をしてもらいたい。突然、使用料が上がってしまったというようなことがないようにしてもらいたい。</p>	<p>地域集会施設の見直しは、段階的に検討していく予定。今年度は、将来の地域集会施設の在り方や考え方を中心に、次年度は具体的な使用料や生涯学習活動への支援策の内容などを、それぞれ説明をしながら、平成 32 年度からの実施を想定している。</p>

## 【緑が丘地域】

### 【緑が丘まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 7 月 27 日（金）18:00～18:50 神楽公民館講座室 参加者 21 人 5 人から 11 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○緑が丘住民センター

全市的に、老朽化施設の建替えすら慎重にならざるを得ない状況にある中で、移転により廃止，という考え方との整合性を説明できるかどうか，ということ念頭に置きながら，担当課により協議をしているところ。その際，移行期間はできるだけ限定的に，貸付手法については無償から有償に切り替え，貸付料については市の現行の運用ルールをもとに算定することを基本として，市から提案しており，それらの点で，一致点を見出せればと考えている。

#### ○サニータウン貸付地

公共建築物のうち，地域会館として貸付けているものについて，公平性や財源確保の点から，個々の状況を踏まえながら，地域関係団体への売却や貸付手法の見直しを進めていこうとするもの。貸付手法の見直しとして，土地の部分のみ有償化を図りたいと考えているが，そもそも市が寄附を受けた土地なのか，あるいは国から市が有償で借り上げている土地なのかなどによって，進め方は変わってくる。サニータウン貸付地については，企業等から寄附を受けたものと承知しており，その場合の扱いについては，庁内で検討中だが，少なくとも，現状に何らかの変化が生じない限り，現行通りではないかと考えている。

	意見内容	回答内容
1	緑が丘住民センターを緑が丘地域複合コミュニティ施設に移転することだが，現在，住民センターを利用している高齢者にとっては遠い。車での送迎等も検討しているのか。現在，住民センターを利用している人に対してどのような説明をしてきたのか。	地域と担当課が既に協議しており，その中で，新たに緑が丘地域複合コミュニティ施設ができたからといって，すぐに緑が丘住民センターを使えなくすることは難しいということを承知している。ただし，公平性の点から，市内全域で見た場合，新しい施設ができたにもかかわらず，古い施設が従前どおりの形で残っていることの説明ができない。そこで貸付手法の見直しなどを含めて検討しているもの。
2	市内全域で見た時の公平性とのことだが，現在，利用している地域住民に，きちんと納得させる必要がある。	利用者の立場からは，すぐに廃止となることについて納得がいかないことはあると思うが，緑が丘地域に限らず，市内の各地域から，様々な要望が来ている中，要望どおりに対応してしまうと，次世代への大きなツケとして残ってしまう。全市的に見る必要があるとの考え方と利用者に対して必要な活動場所を図る目的との両立を図ることを検討している。
3	緑が丘住民センターについては，地域住民ときちんと話し合いをしているのか。	担当課が関係者に具体的に説明し，現在も協議中。

4	<p>当初、緑が丘地域複合コミュニティ施設を工業高校の前あたりに整備予定であったが、実際には、かなり奥になってしまった。高齢者にとってはあまりにも遠すぎる。</p> <p>原則として、新しい施設に移転と同時に緑が丘住民センターは廃止ということは聞いているが、建物診断の結果、まだ、十分利用できる建物と聞いていることから、経過措置として解体の時期を先延ばしして、地域で使わせてもらいたい。その間に、それに代わる施設を地域で考え、スムーズに移行していきたいということで、担当課と協議をしている。</p>	<p>地域と市が前提を共有しながらであれば、いろいろと議論する余地はあると認識している。</p>
5	<p>建物を整備すると維持費が必要となるが、維持費の積立金はどれくらいあるのか。</p> <p>維持管理費は必ずかかるのであるから、積立てておくべきではないか。</p>	<p>市全体の公共建築物で見ると、施設の維持管理や補修をするために積み立てているものはない。全国的に、建物を保全するという考え方が乏しく、高度経済成長期に整備したものが、一斉に古くなり、その対応に苦慮しているというのが状況。保全に充てる予算が十分に確保できないため、壊れた場合など、緊急性を意識して、その都度、対応している状況。</p>
6	<p>サニータウン貸付地は、利用率が高い。売却又は貸付手法の見直しに当たっては、個々の状況や地域の意見を踏まえ、判断してほしい。サニータウン貸付地のように使える価値の高い施設については総合的に判断してほしい。</p>	<p>サニータウン貸付地については、今後も、地域で使用するのであれば、全く関係のない事業者等に売却することはない。ただ、地域の皆さんで購入する可能性はないか、などの検討はお願いしたいと思うが、購入できないからといって、廃止をしたり、他に売却することは想定していない。</p>
7	<p>東光スポーツ公園の武道館について、完成予定はいつか。武道館は合宿もできる施設なのか。</p>	<p>整備計画では、複合体育施設として2つの体育館と武道館の3施設の整備を計画しているが、現在、整備中なのは武道館のみで、平成32年度供用予定。他の2つの体育館については、整備の見通しが持っていない状況。トレーニングルームを併設し、ある程度独立して機能を提供できる施設となる予定だが、合宿という点では、どの程度対応できるのかは使い方にもよる。</p>
8	<p>神楽岡ニュータウン団地の建替えはいつを予定しているのか。</p>	<p>市営住宅については、現在、豊岡第2団地の建替えを進めており、神楽岡ニュータウン団地は、それ以降になる見込み。ただし、人口減少が進む中、市営住宅の整備手法等の見直しも進めており、建替え時期について示すことはできない状況。</p>

9	<p>緑が丘住民センターは、新しく緑が丘地域複合コミュニティ施設ができることから、すぐに解体すべきであることは理解できるが、全市的に見た場合の公平性ということだけの理由で、有償貸付にするのか。提示されている金額がとても高い。公平性ということだけの理由で有償貸付とするのであれば、もっと金額は安くてもいいのではないか。</p>	<p>地域会館について、市内に 200 か所以上あるが、土地も建物も地域が所有しているもの、市の土地に建物だけを地域で建てているもの、建物と土地の両方とも市で持っているもの、国の土地を市が借上げて地域に無料で貸しているものなど様々な形態がある。</p> <p>そのように所有形態などが一様ではない中で、全てを無償貸付で運用している状況を見直す方向で検討している。ただし、個々の事情があることから全てを一斉に有償化することはできないが、市の方向性として、有償化という考えを持っている。</p> <p>全体の方向性を持った中で、緑が丘地域複合コミュニティ施設が整備された後も、緑が丘住民センターを使用するというのであれば、緑が丘住民センターについて、無償貸付から有償貸付に見直すことを検討したいと考えている。</p>
10	<p>緑が丘住民センターを地域が使用しないとなった場合、建物を解体することになると思うが、資産価値を考えても、市にメリットはないのではないか。その少ないメリットを考慮して貸付金額を設定できないのか。</p>	<p>現在、市が提示している金額は、ルールに基づき現行の基準で考えたときの金額を提示している。貸付額については、現行、減額の限度を 50%としており、それ自体を見直すことは想定していない。ただし、減額の割合を段階的に 50%に持っていくことは検討できるのではないか。</p> <p>また、資産活用の点から見ると、売却後、固定資産税を見込める状況にはなる。</p>
11	<p>地域が、緑が丘住民センターを使用しないとなった場合はどうなるのか。</p>	<p>集会施設としての用途を廃止し、基本的に施設は使えなくなる。管理する者がいないため、安全管理面での対応を行いながら、解体撤去に向けた予算措置を行う見込み。</p>

## 【西神楽地域】

### 【西神楽まちづくり推進協議会】

平成 30 年 5 月 17 日（木）18:30～18:50 西神楽支所会議室 参加者 12 人 市からの説明のみで特段の意見なし  
 平成 30 年 6 月 21 日（木）18:00～18:20 西神楽支所会議室 参加者 13 人 4 人から 6 件の意見（意見番号 1～6）  
 平成 30 年 7 月 26 日（木）18:00～18:15 西神楽支所会議室 参加者 12 人 具体的に検討を進めることを確認

### 【西神楽地区中央市民委員会】

平成 30 年 7 月 5 日（木）18:00～19:50 西神楽農業構造改善センター講堂 市民委員会及び町内会等関係者 60 人  
 4 人から 6 件の意見（意見番号 7～12）

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○西神楽支所及び西神楽公民館の老朽化

支所及び公民館講堂については、その機能を農業構造改善センターに集約することとし、その際、必要に応じて増築（50～150 m<sup>2</sup>）も検討しようとするものであり、併せて、地域特性を踏まえた新たな市民サービスも地域の皆さんのお話を伺いながら検討したいと考えている。

#### ○市営住宅の老朽化

市営住宅については、いずれも建物の老朽化が生じており、集約して西神楽の中央地域で建替え、とのお話もあるかと思うが、全市的に市営住宅の整備手法の見直しが行われており、また、市営住宅という性質上、入居される方に対して、地域の思いが反映できないことになる。定住人口の増、という点では手法の一つであると思うが、この地域に住みたい、という人をどう増やしていくのか、という視点も含めて、幅広く手法や取組を検討してはどうか。

#### ○西神楽公民館就実分館の老朽化

西神楽公民館就実分館については、現在、高齢者いこいの家として活用されているとお聞きしている。公民館としての位置付けは廃止を想定しているが、現行の活動が継続できるよう手法について検討したい。

#### ○進め方

まず、西神楽地域における市民サービスの提供という視点から検討し、ある程度、地域との間で共通認識が図られた段階で、西神楽地域の活性化の視点で、例えば、支所移転後の敷地の活用などの個別の扱いから、農村振興という大きな課題まで、継続的に地域と一緒に検討していきたい。

	意見内容	回答内容
1	西神楽農業構造改善センターの増築面積を 50 m <sup>2</sup> から 150 m <sup>2</sup> 程度との説明があったが、郷土資料館を設置する場合、全部、それで満たされてしまうのではないか。	増築を想定している場所としては、旧浄化槽の場所を考えており、敷地の形状等から 150 m <sup>2</sup> が上限。スペース的に、郷土資料館のうち、観てもらいたいもの、地域として残し続けたいものを選んでもらい、それを展示することになると思う。
2	支所について、農業構造改善センターに移転した場合でも、サービスは変わらないか。	現行の支所業務である、証明書の発行、届出の受付、収納、まちづくり相談は、継続することを想定している。



3	土曜日、日曜日は支所が休み。市内の他の地域では、自動交付機を設置しているところもあるが、西神楽では設置しないのか。	自動交付機の設定については具体的な検討は行っていない。コンビニ交付等の流れもあり、それらを踏まえながら、ということになる。少なくとも、現行の窓口業務については継続することを想定している。
4	医療のサービスはどの程度期待できるのか。	医療の提供までは踏み込めないが、つなぎの部分は検討できると思う。庁内の検討組織の中には保健所も参加しており、今後、健康に関する取組について、地域の関係者と意見交換をしていく中で、ニーズを踏まえ、どのようなことができるのか、一緒に考えていきたい。
5	郷土資料館が入るという説明について、市の施設に民間が入るという例は無いと思うが可能なのか。	郷土資料館は、東旭川や永山にもあるが、いずれも地域で運営しており、これまでと同様、地域の郷土資料館は地域で管理してほしい。西神楽農業構造改善センターに、郷土資料館を移転させるのではなく、その中から選んでいただいたものを、展示するスペースを確保するという考え方。
6	社協の事務局をやっているが、催しで高齢者が来るたびに机、椅子を出し、会場を設営している状況。要望として農業構造改善センターの増築時にカフェ的なものが設置できないか。	西神楽農業構造改善センターのレイアウトを検討する際に、面積的な制約はあるが、健康や高齢者福祉などの活動をしている地域のひとと、例えば、市の保健師が派遣された時に、意見交換をしたり、アイディアを話し合えるようなスペースは考えられるのではないかな。
7	現支所の農業構造改善センターへの移転時期を明確にしてほしい。	仮に 150 m <sup>2</sup> 程度を増築する場合、7 千万円程度の工事費と試算しており、国からの財政措置の状況によって実現性が変わってくるため、移転時期については、現時点で具体的に示せるものはない。 また、増築などの予算措置を必要とするもの以外であれば、今後、担当課も含めて協議をさせていただいた上で、先行して、次年度から実施できるものもあると考えている。
8	農業構造改善センター増築のスペースとして資料館、フリースペースなどの話があったが、ほかに具体的な内容があるのではないかな。ここに来られた方々はそこを聞きたいのではないかなと思っている。	増築部分の使い方として、支所業務、郷土資料館収蔵品の展示スペースのほか、不在者投票や福祉活動の担い手と市の職員が意見交換をできるような多目的なスペースの 3 つが検討事項だと考えている。具体的なレイアウトの検討はこれからではあるが、本日、あるいはこれから、どのような機能が望ましいのか、意見をいただきたい。

9	支所移転後の跡地についてはどのように考えているのか。	支所移転後の跡地利用については、市として、方針として持っているものはない。これまでお聞きしている中では、農業構造改善センターの駐車スペースの拡大用、地域行事の会場、ゲートボールの場などが考えられるが、地域からの提案をお願いしながら、一緒に考えていくことを想定している。
10	新しい支所の体制では、人員削減を考えているのか。地元の人の採用は考えているのか。	人員削減や地元雇用に関することについて、現時点では、庁内で議論をしていない。
11	町内会活動のなり手がいないため活動ができなくなる地域がでてくる不安がある。ここに来ている参加者を見れば分かると思うが高齢者がほとんどである。市全体と西神楽地域が同じという認識では甘いと思っている。市では、計画を作るときは、今回のように地域と話をしながら進めてほしい。	特に、西神楽などの郊外の地域では、高齢者を支える担い手も高齢者。先ほど、「健康」に関するテーマでの取組を例示したが、その中で、高齢化している担い手を支えていく、という視点も必要であると考えている。西神楽における「健康」を切り口とした取組を、地域内の他の分野での取組や、同様の状況にある市内の他の地域での取組など、広げていけるようなものにできればと、考えている。
12	市営住宅のうち、廃止になるものと、統合して新たに建てる時期について聞きたい。	市営住宅に関する計画において、瑞穂団地、千代ヶ岡団地は用途廃止を予定している。その時期については、現在、居住者がいるので未定。藤岡団地、高台団地については、計画上、用途廃止とは位置付けていないが、建築後、既に50年が経過しており、将来像の検討が必要。西神楽中央地区において、「集約して建替え」、という要望も承知しているが、この地域において市営住宅が良いのか、あるいは他の手法が良いのかなど、地域としても検討事項があるものと考えている。

## 【東鷹栖地域】

### 【東鷹栖まちづくり推進協議会委員及び関係者】

平成 30 年 8 月 29 日（水）14:45～15:50 東鷹栖農村活性化センター ホール 参加者 16 人 6 人から 13 件の意見

### 【意見交換のポイント（説明要旨）】

#### ○地域集会施設

現在、それぞれ目的別に施設整備や運用を行っているが、今後、公民館の老朽化に対して公民館として建替え、あるいは住民センターの老朽化に対して住民センターとして建替え、という手法が困難な状況にあるため、設備等がほぼ変わらないことから、それらの施設について貸室としての機能を重視し、そこに生涯学習を含めた地域住民の多様な活動の場を提供していきたいと考えている。

※併せて、主な検討事項として、時間帯区分、使用料の統一及びその場合の公民館、住民センター、地区センターの使用料の状況、生涯学習活動の機会の確保等に関する取組について概要を説明。

#### ○東鷹栖公民館第 3 分館、東鷹栖公民館第 4 分館

市が公共建築物として建替える、ということは想定しておらず、当面のニーズに対応するため、利用実態を踏まえながら、個別に対応策を整理し、市民委員会や利用団体等と協議をしたいと考えている。

東鷹栖公民館第 3 分館については、地域にとって必要な規模をお聞きしながら、そのスペースをどのように確保するかを協議していきたい。

東鷹栖公民館第 4 分館については、主に地域の方が利用しており、性質的には地域会館と類似しているものと考えている。そのため、地域にとっての必要性をお聞きし、必要であれば、その間、光熱水費等を御負担いただけるのであれば、土地と建物をお貸しすることを協議していきたい。

#### ○東鷹栖スキー場

建物の老朽化のほか、地域で管理していくことの難しさなどから、別途、今シーズンの休止について協議している。利用者が毎シーズン平均で 140 人前後であり、近隣町を含めて代替が可能であることから、今後、用途廃止する方向で作業を進めていきたい。

#### ○東鷹栖第 2 保育所、東鷹栖第 4 保育所

現在休止中の、東鷹栖第 4 保育所を東鷹栖第 2 保育所に集約することについて、別途、協議をしている。まず東鷹栖第 2 保育所に集約することで協議が整った後は、施設の老朽化や保育ニーズの状況を見ながら、東鷹栖農村活性化センターの活用などを検討したい。

	意見内容	回答内容
1	先日の新聞記事では、市は 2027 年度までに最大 92 施設の削減を目指していると書かれているが。	施設再編計画は、2039 年度までの期間を 3 期に分けて策定予定で、第 1 期の期間が 2027 年度までとなっている。第 1 期施設再編計画案では、最大 92 施設について廃止を含めて施設将来像を検討することとしているが、この数字は第 3 期までの取組も含めている。今後、施設将来像の検討や協議の結果によって変わってくるので、全て無くなるものではない。
2	東鷹栖公民館第 3 分館について、除雪が問題となっており、地元の人も心配している。お願いしてもなかなか屋根の雪を下ろしてくれない。どのように考えているのか。	市の施設であれば、基本的に、除雪等の維持管理に関する予算措置をしているものと思われる。例えば、廃校などの用途廃止した施設においても、建物によっては年間数百万円の維持管理の予算を計上している。公民館分館についても、市の公共建築物であるから維持管理については市の責任だと考える。
3	東鷹栖第 4 保育所は平成 28 年度から休止しており、さらに東鷹栖第 2 保育所に比べて建物が古い。そのような理由から、建替えではなく、東鷹栖第 2 保育所に集約し、補修をしながら対応していくという考え方なのか。	東鷹栖第 2 保育所は現在、保育所として運営しており、集約の考え方として休止中のところは廃止し、運営しているところを集約の受け皿にしようという考え方はある。そうなった場合は、東鷹栖第 2 保育所の修繕にお金を掛けていくことになる。
4	園児が増えてきた場合に、東鷹栖第 2 保育所をずっと継続してくれるのか。	園児そのものの人数もあるが、保護者のニーズとして、集団生活の中での保育を希望されるのか、という部分もある。それらの状況によっては、できるだけ東鷹栖第 2 保育所を使い続けるのか、あるいは東鷹栖の市街地の保育園を利用するのか、対応策は、変わってくると考えている。
5	園児がある程度増えてくると東鷹栖農村活性化センターで、という考え方もあるのか。	東鷹栖地域は高速道路を境にして、それぞれまちの特性があるものと感じている。その中で、東鷹栖農村活性化センターについては、さらに拠点性を高めながら使い続ける施設であると考えており、その一環として、高齢者福祉や保育機能を含めた子育て支援など、地域住民のニーズに応じた取組が展開できるのではないかと考えている。

6	東鷹栖公民館第4分館については、市から借り受けて、地域が運営費を負担していくということか。いつごろから、協議を予定しているのか。	市から提案をさせていただく内容の概要はそのとおり。なお、地域として使わなくなった場合は、市側で解体撤去することになる。今後、協議に当たっては、維持管理費用なども示しながら、その金額が地域で負担する際に現実的なものなのかなど、まず地域の意向を確認しながら進めていきたい。 今回は、東鷹栖地域全体で意見交換をさせていただく機会であり、協議は後日ということになるが、可能であれば、来月にでも説明に伺いたい。
7	今後、公民館分館などについて地区ごとに協議しながら進めていくと思うが、東鷹栖農村活性化センターや小中学校などは、東鷹栖地域全体で話し合うようにしてほしい。	
8	新規整備は難しいとしても、東鷹栖地域は、こういう施設が充実していると言えるような施設再編計画にしてほしい。例えば、子ども重視で考えるならば、東鷹栖の市街地に集約し、送迎等の対応でも良いのではないか。将来に向けて充実した地域づくりができるような考え方を持ってもらいたい。	ハード面での取組とともにソフト面での取組を積極的に組み合わせていくことが必要であると考えている。地域の活性化については、段階的に進めることが必要ではないか。例えば西神楽地域では、郷土の歴史を大切にしたい、という思いから、農業構造改善センターの増築を検討する際に、広く、郷土の歴史を観てもらえるような取組をできないか、との提案を受けている。それぞれの地域で大切に思っているものを、公共建築物の活用と連携させながら具体化できるようにしていきたいと考えている。
9	地域を維持するためには、地域から情報を発信しないと、なかなか認めてもらえないということか。	このような形で意見交換を重ねることも大切だが、東鷹栖地域には、既に、市役所の様々な部局が関わりを持っており、庁内の連携を図ることにより、東鷹栖地域のことを様々な視点から把握することができると考えている。そのような取組も同時に行いながら、地域と共通認識を持ちながら話ができるようにしていきたい。
10	近文第2小学校は統廃合の対象となっているが統廃合が進まないのは、まだニーズがあるからなのか、あるいは、近文第1小学校が老朽化してきていることや宅地造成が関係しているからと考えていた。長期的には廃止を進めていくとは思いますが、近文第2小学校の児童数は、刑務所職員の異動等にも影響されるため、変動があると聞いている。近文第1小学校も含めた将来展望はどうなっているのか。	平成27年度に教育委員会が旭川市小・中学校適正配置計画ブロック別計画を策定しており、それに基づいて統廃合等の協議を進めている。計画上、近文第2小学校は平成32年度から平成36年度の取組として位置付けており、それを目途に地域と協議が行われるものと思われる。ただし、現在、取組の期間としている学校が、いくつも残っている状況。 計画上は、近文第1小学校について、老朽化への対応策を講じながら維持していくこととしている。

11	東鷹栖地域では、小学校の統廃合が行われてきた経過がある。地域の中核として、小学校があり、そこで住民がいる。子どもが少なくなったから、というの分かるが、子どもがいないと地域が活性化されないのではないかと、との思いもある。	子どもの教育環境の視点と地域振興の視点で考えた場合、特に、地域振興については関係部局が連携して検討することが必要であり、既に廃校となっている建物の利活用や統廃合について地域協議を行う際に、どのような形で転用できるのか、などの提案も、できるだけ地域に示していけることが望ましいと考えている。昨年度、用途廃止施設等利活用検討会議を設置しており、今後、庁内で連携しながら検討していきたい。
12	学校に特徴を持たせ、そこに通いたくなるような魅力を持たせることも必要ではないか。	
13	北消防署東鷹栖分遣所は、将来的にどのようにする予定か。 何年も前から検討してきていたと思うが、前向きな報告もない。具体的な形が見えるようにならないのか。	所管区域が隣接する形で、消防出張所・分遣所の老朽化が生じている状況。必要に応じて所管区域の見直し、機能の充実なども検討しながら整理するものと思われる。 いくつかの要素が連動しているものと思われる。もうしばらくお持ち願いたい。

※江丹別地域については、地域まちづくり推進協議会の各委員に資料を配付し意見等があれば提出をお願いした（意見等の提出はなし）。